

# みかい

安住院便り  
(第25号)

平成22年8月1日発行

〒703-8236  
岡山市中区国富3丁目1-29  
住職 生駒 琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

## 後楽園

日本三名園は、水戸の「偕楽園」、金沢の「兼六園」と、岡山の「後楽園」ですが、由来は定かではありませんが、明治中頃以降用いられている、江戸時代の大名庭園であります。

その中で、岡山の後楽園は、岡山藩主池田綱政公により、元禄十三年（一七〇〇）に完成したのですが、お城の後というところで「後園」と呼ばれていましたが、（先憂後楽）の精神に基づいて造られていることから明治四年（一八七一）に「後楽園」と改められたと言うことです。

旭川の中州という地理的条件もありますが、岡山市内中心部でありながら、市街地と少し距離を置くことができ、静かな憩いの場所としての役割も大きいのです。築庭より五十年後、操山の現在の地に借景として安住院多宝塔が建造されましたが、多宝塔側から眺める後楽園も、写真のように二百五十年前よりは様変わりし、ビル群に囲まれています。その素晴しは変わりません。



当初は、藩主の居間「延養亭」を中心に、建物から眺望を楽しむ場でありましたが、後に池より水路を巡らし、庭を巡り歩き楽しむ回遊性の要素も加わってきました。藩主の好みや時代状況により景観を変化させてはきましたが、操山と其中腹に佇む多宝塔の存在は変わってはいません。代々の藩主も延養亭より、四季折々の眺めのなかで、多宝塔の点景も楽しまれていたことでしょう。

庭園というのは、人工的な自然美であります。特に日本庭園は、華やかな色の花々や幾何学的な造形ではなく、日本という風景を、日本人の心を表現しているものです。山川草木、全てを大事に思ながら、目の前にその自然を創り出し、心の安らぎを得ようとしているのです。

真言宗では、それを曼荼羅世界と呼びます。目耳鼻など人間の感覚で感じるもの全てが、仏様であると信じていることです。沢山の仏様を思いながら、自分もその曼荼羅の中に存在するのだという思いが、大切なのです。

今度、後楽園に入られたら是非、様々な場所を散策しながら、庭園のもつ素晴らしさを感じて下さい。そして、操山中腹の多宝塔も、再確認して下さい。幸いです。

安住院ホームページ <http://www.anjuin.com/>

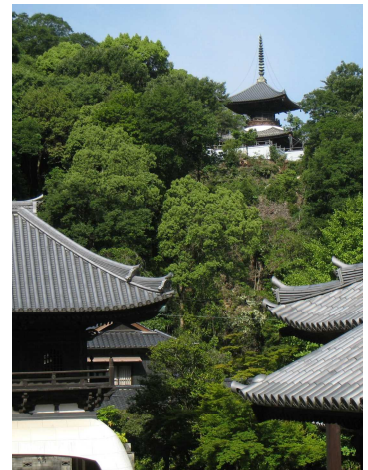
## 多宝塔修復工事完成

この七月末で、約五年に亘る安住院多宝塔修復工事も無事に完成致しました。御本尊をお戻ししたり、周辺整備が少し残ってはありますが、化粧直しされた素晴らしい雄姿は、二百五十年の時を越えて操山に佇んでいます。亀腹の白さも格別です。「きれいななったね」との言葉を聞くこと、嬉しく思います。この先も是非末永く、岡山の各所より一望できる塔であることを願っております。

数多くの皆様に支えられての修復工事であります。改めて各位には、感謝の気持ちを示したいと存じます。

十月初旬に、完成後の多宝塔見学会を、昨年通り開催する予定になっております。

この五年間、多宝塔の構造や歴史だけではなく、操山についても、数多くのことを学ぶことが出来、充実した期間でした。



更に、今年十二月四日(土)には、後楽園鶴鳴館を会場として、修復工事完成記念の催しを企画しております。準備出来次第、ご案内申し上げますので、是非皆様、ご一緒に完成を祝して下さいれば幸いです。

## 灯籠流し

岡山市仏教会主催で、今年も例年通り、八月十六日六時半から、西川の緑道公園にて、灯籠流しを開催致します。

ご先祖様の供養のため、是非お詣りして、灯籠流しにご参加下さい。

## 瀬戸内観音霊場参拝②

今年の四月二十二日、瀬戸内観音霊場参拝の第二回目を行いました。今回は備後北部及び備中西部の九ヶ寺を巡りました。

天候不順の昨今、冷たい雨の降り続く中での参りでしたが、雨の恵みもまた良しとの思いで、転ばないように、ゆっくりと歩を進めました。

山の中にひっそりと佇む古刹の数々ですが、このような素晴らしい場所に、観音様が導いて下さっていると感じ、また霊場巡りでないと訪れることが出来ないのかな、との思いもあり、一緒に頑張ったださっている霊場会に感謝しながらのお参りでした。

残り二回、日帰り団参となりますので、ふるってご参加下さい。

次の予定は、十月二十五日(月)ですので、宜しく願い致します。

